

「EGFR 遺伝子変異陽性肺癌に対する ABCP 療法の効果予測因子の検討」へ

ご協力をお願い

— 2019 年 4 月～2021 年 12 月の間に、当院で ABCP 療法を受けた患者様へ —

研究責任者 岩国医療センター 呼吸器内科 馬場 貴大

1. 研究の背景・目的

EGFR 遺伝子変異陽性肺癌患者さんにおける化学療法の治療方針を決定するにあたり、分子標的薬治療以外の選択肢として ABCP 療法（カルボプラチン、パクリタキセル、アテゾリズマブ、ペバシズマブ併用療法）の有効性が知られています。しかし、実際に治療が行われどの程度有効であるかを研究した報告は多くありません。また EGFR 遺伝子変異陽性の患者さんの中でどういった方により有効性が高いかという点に関しても十分な根拠が得られていません。この研究の目的は、EGFR 遺伝子変異陽性肺癌患者さんにおける、ABCP 療法の有効性、安全性を調べることで、どのような特徴を持つ患者さんにおいて特に ABCP 療法が有効であり、安全な治療を行うことができるかを検討し、今後の診療において肺癌患者さんに有用な治療を行えるようにすることで治療成績を向上させることです。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019 年 4 月～2021 年 12 月までに、当院で EGFR 陽性肺癌にて ABCP 療法を受けた患者様が対象となる予定です。

2) 研究期間

2022 年 11 月開催倫理委員会承認後～2023 年 12 月

3) 研究方法

研究者が既存のカルテ情報からの情報を取得し、解析を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。抽出項目は年齢、性別、肺癌の組織型、肺癌の遺伝子変異、肺癌の治療歴、発現した副作用の内容、治療期間、生存期間に関する情報です。

5) 情報の保存・二次利用

この研究に使用した情報は、匿名化した上で、研究終了について報告後 5 年間当院に保存し、新たな医学研究に使用させていただきます。また、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、岩国医療センターのホームページに情報を開示してお知らせします。

カルテデータから抽出し評価する観察研究であり、患者さんの個人情報を抹消した状態で解析します。

従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配はありません。この研究にご質問等がありましたら、下記の間合せ先にお尋ね下さい。

<問い合わせ・連絡先> 研究責任者：岩国医療センター呼吸器内科

医師 馬場 貴大

〒740-8510 山口県岩国市愛宕町 1 丁目 1 番 1 号

TEL 0827-34-1000（代表）